

平成28年度施策評価シート(平成27年度実施事業)

作成主管課	建設課
	管理課
関係課	

施策名	生活道路	施策コード	4-1-1
-----	------	-------	-------

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり
	小政策	だれにもやさしく、潤いのある生活環境を整えます
現況と課題	<p>少子高齢化や人口減少の進展、集落の衰退や産業活動の低下、緊急医療体制の確保など、地方部の活力低下や地域格差の拡大が懸念されている中で、地域において安全で快適な移動を実現するため、通勤や通院などの日常の暮らしを支える生活道路は、市民の最も身近な生活基盤となるものです。</p> <p>本市ではこれまで、市民生活の利便性の向上や安全性の確保のため、幹線道路の整備にあわせ、緊急性や必要性を考慮しながら、危険箇所・狭あい道路の解消や歩道の整備などを進めるとともに、適切な維持管理に努めてきました。現在は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災によりもたらされた被害を受けて、災害に強いまちづくりの推進とともに、安心・安全な生活道路の整備がより一層求められています。</p> <p>今後は、高齢者や障がい者のみならず、だれもが移動しやすく、かつ、歩きやすい安心・安全な道路環境の構築とともに、緑豊かで潤いのある沿道環境や景観づくりを推進していく必要があります。</p> <p>また、道路里親制度の拡充など市民との協働を視野に入れた適切な維持管理を進めていく必要があります。</p>	
施策目標	だれもが移動しやすく、かつ、歩きやすい安心・安全な道路環境を形成するため、地域の特性を考慮した生活道路の整備を進めるとともに、地域住民等との連携を図りながら迅速かつ確実な維持管理に努めます。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	事業の早期完成を求める意見や要望が数多くある。
-------------	-------------------------

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
地区内の道路環境に満足している市民の割合	市民実感度	44.630	41.080	43.570	47.440	49.180	0.000
	加重平均値	2.327	2.296	2.365	2.403	2.480	0.000
※※※※※※	市民実感度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	加重平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		93.400	94.380	94.120	93.650	0.000
	加重平均値		3.629	3.665	3.668	3.702	0.000

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
市道の整備率(改良率)	目標値	%		41.1	41.6	42.1	42.6	43.1
	実績値	%	40.6	41	41.2	41.9	42.2	0
	達成度	%		99.76	99.04	99.52	99.06	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
歩道の整備延長	目標値	m		99,827	101,521	103,326	103,914	104,877
	実績値	m	98,742	102,109	102,336	104,583	105,080	0
	達成度	%		102.29	100.8	101.22	101.12	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
道路里親実施団体数	目標値	団体		34	43	52	61	70
	実績値	団体	24	30	34	37	38	0
	達成度	%		88.24	79.07	71.15	62.3	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0

数値指標の考え方	指標設定の考え方	通勤や通学などの日常の暮らしを支える生活道路は、「市道の整備率、歩道の整備延長」で把握する。
	目標値設定の考え方	道路整備の予算状況を考慮し、施工延長から設定した。

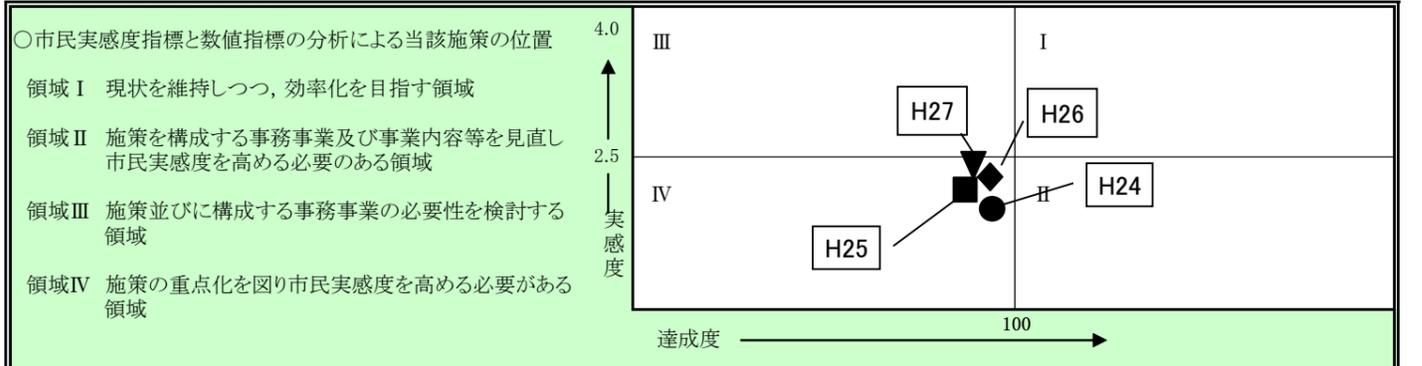
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 道路を供用開始した後の、道路法面の除草作業やごみ拾いなどの維持管理に関すること。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 各事業の早期完成と、地域において安全で快適な移動を実現し交通利便性の向上を目指す。工事費等の経費節減や工事期間短縮を図るとともに、施設の長寿命化を検討する。

3 平成27年度の実績

取組状況等	取組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。 各路線とも説明会、用地交渉等を行い20路線について事業の用地取得を進めた。また、2路線で延長390mの道路改良及び舗装工事を行い成果を得た。
-------	---

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	指標を分析した結果施策目標は達成されたのか 今年度は道路用地の確保及び路線測量を中心に事業を推進したため、市道の整備率(改良率)は、目標値に若干達しなかった。 施策の評価については、事業の重点化を図り市民実感度を高める必要がある。
-------	---

構成事務事業の適正性	施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か 施策を構成する事務事業は、目標に直接働きかけをしていることから構成としては適正である。
------------	--

残された課題	平成28年度以降に残る課題、その要因として考えられること。 市民から整備要望が多数寄せられるため、現況の調査を行いながら、より効率の良い事業を進めていくためには、実施する優先順位や時期を明確にする必要がある。
--------	---

5 今後の方向性

取組方針	平成29年度に向けた施策方針 整備事業の優先順位については、統一した優先順位評価基準を作成し、透明性を確保した道路整備を進める。主要な市道については定期的にパトロールを実施し、路面の痛みが激しく危険な箇所等は早急に対応する。今後も、通勤や通学などの日常の暮らしを支える生活道路は、財源を確保し積極的な道路整備に取り組む。
------	---

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策名 01 生活道路

事業費合計	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3カ年計	3カ年平均
	186,409	711,282	594,100	1,491,791	497,264

No.	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
				成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
1	市道認定事業	道路法第8条により市町村道は市町村の营造物であり、その管理、費用負担の主体は市町村であるので、市町村長が市町村道の路線を認定する場合には前もって市町村の議決機関である市町村の議会の議決を経なければならないこととして、充分に市町村の意思が反映されるよう措置している。	101 義務的事業	認定率	%	100	100	100	市単独	0	0	0	01 生活道路網の整備	管理課	義務的事業
2	道路台帳更新事業	道路法第28条に基づき、道路管理者がその管理事務を円滑に遂行するためにも、道路の区域はもちろん道路の構造等、兼用工作物、占用物件その他に道路管理上の基礎的な事項を総括して把握しておく必要がある。道路台帳の制度は、この制度に基づき設けられたものである。	101 義務的事業	修正路線延長	m	20,000	20,000	9,290	市単独	13,776	7,484	11,556	01 生活道路網の整備	管理課	義務的事業
3	友部駅周辺整備事業(地区道路)	道路改良事業2路線 浸水対策1地区 南友部地区計画(H17.12.8)における位置づけされた幹線区画道路2号線(市道1175号線)の整備及び友部駅周辺の道路整備・浸水対策を実施し、住みよい環境作りを図る。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	16	20	国補助	0	25,017	23,794	01 生活道路網の整備	建設課	2
4	市道(笠)0109号線整備事業(片庭地区)	社会資本整備総合交付金 住環境整備事業 狭あい道路整備等促進事業 道路改良舗装工事 全体計画 L=260m W=6.0m 幅員が狭く自動車等の交通に支障をきたしているため、拡幅工事を行い車両や歩行者の安全を確保する。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	0	国補助	0	0	300	01 生活道路網の整備	建設課	5
5	市道(笠)1251号線整備事業(池野辺)	社会資本整備総合交付金 住環境整備事業 狭あい道路整備等促進事業 道路改良舗装工事 全体計画 L=220m W=5.0m 地区の生活道路として、拡幅工事を行い車両や歩行者の安全を確保する。 概算事業費 33,668千円(27見直) 内訳 委託費 6,228千円 用地費 2,340千円 補償費 2,100千円 工事費 23,000千円	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	0	国補助	0	0	0	01 生活道路網の整備	建設課	5
6	市道(笠)0218号線整備事業(日沢)	社会資本整備総合交付金 住環境整備事業 狭あい道路整備等促進事業 道路改良舗装工事 全体計画 L=210m W=5.0m 地区の生活道路として、拡幅工事を行い車両や歩行者の安全を確保する。 概算事業費 37,923千円(27見直) 内訳 委託業務 6,033千円 用地費 1,290千円 補償費 1,600千円 工事費 29,000千円	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	0	国補助	0	0	0	01 生活道路網の整備	建設課	4
7	友部地区(八雲)浸水対策事業	近年の集中豪雨等により、宅地化が進んでいる市街地において、冠水等の浸水被害が発生している。中でも友部地区(八雲)においては、住宅地への浸水被害が発生しており、その被害を減少させる。	102 建設・整備事業	執行率	%	0	0	0	市単独	0	0	0	01 生活道路網の整備	建設課	3
8	市道(友)3206号線整備事業(旭町)	道路改良事業 延長 470m 幅員 5m 地区の生活道路として、拡幅改良を行い車両や歩行者の安全を確保する。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	10	国補助	0	0	5,621	01 生活道路網の整備	建設課	5
9	市道(笠)2237号線整備事業	国道355号線道路改良工事に伴う市道取付道路改良工事負担金 道路改良舗装工事 全体計画 L=238m W=6.0/10.0m 全体事業費 170,000千円 茨城県負担 78,000千円 笠間市負担 92,000千円	102 建設・整備事業	市道の安全確保	m	0	0	0	市単独	0	0	0	01 生活道路網の整備	建設課	2
10	(廃止)市道(友)3266号線整備事業	延長 140m 幅員5.0m 幅員が狭く、自動車等の通行に支障をきたしている。また降雨時に冠水が見られるため、改良、排水整備工事を行い地域住民の生活利便性の向上を図る。	102 建設・整備事業	整備進捗率	%	40	100	0	国補助	6,646	9,785	0	01 生活道路網の整備	建設課	5
11	市道新設改良事業(笠間地区)	新設改良事業(市単) 整備最少幅員W=4.0m以上 各地区からの要望箇所を道路整備の優先順位評価基準に基づいて評価し、必要性・緊急性の高い路線から効率的・効果的に整備を行う。	102 建設・整備事業	実施率	%	100	100	81	市単独	73,823	158,516	32,160	01 生活道路網の整備	建設課	5

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
				成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
12	市道(岩)西277号線整備事業(大綱)	道路改良事業 延長 307m 幅員 5m 地区の生活道路として、拡幅改良を行い車両や歩行者の安全を確保する。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	14	0	国補助	0	5,864	0	01 生活道路網の整備	建設課	5
13	(廃止)市道(友)2級2号線整備事業	道路改良事業 延長 600m 幅員 5m 地区の生活道路として、拡幅改良を行い車両や歩行者の安全を確保する。	102 建設・整備事業	整備進捗率	%	80	100	0	国補助	29,098	13,894	0	01 生活道路網の整備	建設課	4
14	市道新設改良事業(友部地区)	各地区から寄せられる改良要望の中から緊急性の高い路線や未改良路線などを、拡幅改良し、生活道路網を整備する。 新規記載路線については、道路整備の優先順位評価会議により決定	102 建設・整備事業	執行率	%	0	0	55	市単独	26,570	9,625	475	01 生活道路網の整備	建設課	5
15	市道新設改良事業(岩間地区)	各地区から寄せられる改良要望の中から緊急性の高い路線や未改良路線などを、拡幅改良し、生活道路網を整備する。 新規記載路線については、道路整備の優先順位評価会議により決定	102 建設・整備事業	執行率	%	0	0	77	市単独	0	84,276	35,898	01 生活道路網の整備	建設課	5
16	市道(岩)西309号線整備事業(愛宕団地)	道路改良事業 延長 180m 幅員 5m 地区の生活道路として、拡幅改良を行い車両や歩行者の安全を確保する。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	16	100	国補助	0	4,482	15,569	01 生活道路網の整備	建設課	5
17	(廃止)市道(友)1175号線整備事業	道路改良事業 延長 550m 幅員 8m 南友部地区計画(H17.12.8)における位置づけされた幹線区画道路2号線の整備と合わせて下水道管の布設を実施し、住みよい環境作りを図る。	102 建設・整備事業	整備進捗率	%	0	100	0	国補助	0	28,895	0	01 生活道路網の整備	建設課	1
18	(廃止)市道(笠)2089号線整備事業	社会資本整備総合交付金 住環境整備事業 狭あい道路整備等促進事業 道路改良舗装工事 全体計画 L=100m W=5.0m 幅員が狭く自動車等の交通に支障をきたしているため、改良工事を行い通行の安全を確保する。	102 建設・整備事業	狭あい道路の解消	m	0	100	0	国補助	2,595	8,899	0	01 生活道路網の整備	建設課	5
19	市道(友)1級11号線(矢野下)道路整備事業(繰越)	歩道整備工事 延長 450m 幅員 8.0m 歩道の未整備区間があり、整備を図ることにより病院や小学校等公共施設への安全な通行が確保される。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	5	国補助	0	0	7,366	01 生活道路網の整備	建設課	4
20	市道(笠)1011号線(大洲)道路整備事業(繰越)	道路改良舗装事業 全体計画 L=310m W=5.5m 幅員が狭く自動車等の交通に支障をきたしているため、改良工事を行い通行の安全を確保する。	102 建設・整備事業			0	0	0	市単独	0	0	1,814	01 生活道路網の整備	建設課	5
21	市道(笠)3589号線(本戸)道路整備事業(繰越)	測量業務委託 本路線の路体部(高盛土区間)の不等沈下及び滑り等の観測を行う。	102 建設・整備事業			0	0	0	市単独	0	0	496	01 生活道路網の整備	建設課	5
22	市道(笠)2089号線(下市毛)道路整備事業(繰越)	構造物撤去工事 道路改良事業に伴い旧窯業指導所跡地側の石積み撤去及び処理を行う。	102 建設・整備事業			0	0	0	市単独	0	0	3,175	01 生活道路網の整備	建設課	2
23	市道(笠)3670号線(石井)道路整備事業(繰越)	道路改良舗装事業 全体計画 L=200m W=5.0m 幅員が狭く自動車等の交通に支障をきたしているため、改良工事を行い通行の安全を確保する。	102 建設・整備事業			0	0	0	市単独	0	0	747	01 生活道路網の整備	建設課	5
24	市道(笠)0110号線(大郷戸)道路整備事業(繰越)	道路改良事業 全体計画 L=34m W=1.0m 一部改修が必要なため用地買収を行う。	102 建設・整備事業			0	0	0	市単独	0	0	0	01 生活道路網の整備	建設課	3
25	市道(笠)2336号線(笠間)道路整備事業(繰越)	物件移転補償 本路線工事における支障電柱の移転を行う。	102 建設・整備事業			0	0	0	市単独	0	0	0	01 生活道路網の整備	建設課	2
26	市道(笠)2111号線(笠間)道路整備事業(繰越)	道路改良舗装事業 全体計画 L=600m W=5.5m 本路線は通学路に指定されているが、幅員が狭く児童の通学に支障をきたしているため、現在排水路となっている箇所を歩道に整備する。	102 建設・整備事業			0	0	0	市単独	0	0	4,974	01 生活道路網の整備	建設課	2

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

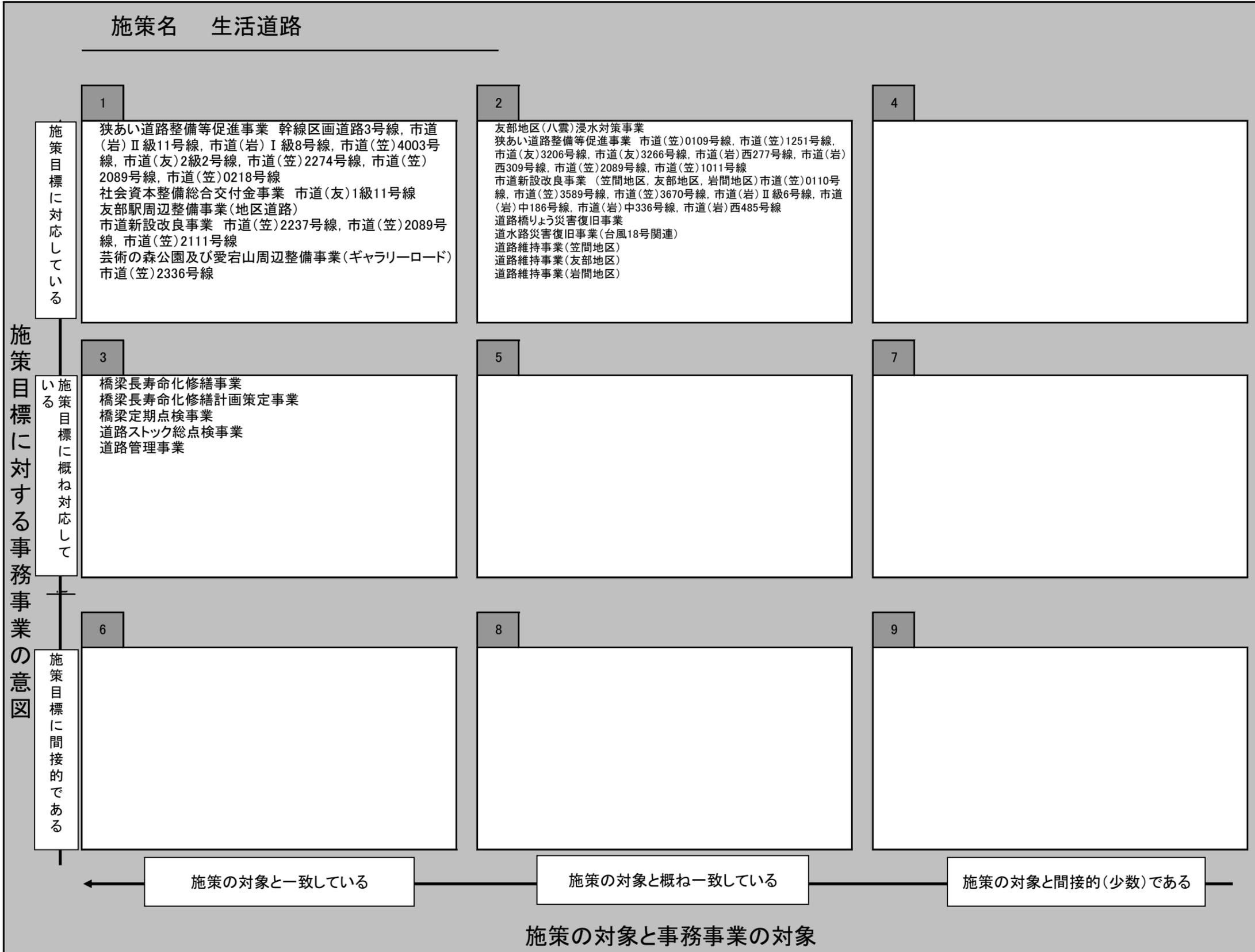
	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価		
				成果指標①	単位	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成25年度				平成26年度	平成27年度
27	市道(岩)Ⅱ級6号線(下郷)道路整備事業(繰越)	各地区から寄せられる改良要望の中から、緊急性の高い路線や未改良路線などを拡幅改良し、生活道路網を整備する。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	23	市単独	0	0	4,892	01 生活道路網の整備	建設課	5
28	市道(岩)中186号線(吉岡)道路整備事業(繰越)	各地区から寄せられる改良要望の中から緊急性の高い路線や未改良路線などを拡幅改良し、生活道路網を整備する。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	35	市単独	0	0	3,506	01 生活道路網の整備	建設課	5
29	市道(岩)中336号線(下郷)道路整備事業(繰越)	各地区から寄せられる改良要望の中から緊急性の高い路線や未改良路線などを拡幅改良し、生活道路網を整備する。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	70	市単独	0	0	79,112	01 生活道路網の整備	建設課	5
30	市道(岩)西485号線(泉)道路整備事業(繰越)	各地区から寄せられる改良要望の中から緊急性の高い路線や未整備改良路線などを拡幅改良し、生活道路網を整備する。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	0	市単独	0	0	0	01 生活道路網の整備	建設課	7
31	友部駅周辺整備事業(地区道路)(繰越)	道路改良事業2路線 排水対策1地区 南友部地区計画(H17.12.8)において位置づけされた幹線区画道路2号線(市道1175号線)の整備及び友部駅周辺の道路整備・浸水対策を実施し、住みよい環境づくりを図る。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	9	国補助	0	0	16,367	01 生活道路網の整備	建設課	2
32	市道(岩)西277号線(大網)道路整備事業(繰越)	道路改良事業 延長 330m 幅員 5m 地区の生活道路として、拡幅改良を行い車両や歩行者の安全を確保する。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	31	国補助	0	0	8,236	01 生活道路網の整備	建設課	5
33	市道(岩)西309号線(北根)道路整備事業(繰越)	道路改良事業 延長 180m 幅員 5m 地区の生活道路として、拡幅改良を行い車両や歩行者の安全を確保する。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	41	国補助	0	0	6,210	01 生活道路網の整備	建設課	5
34	市道(笠)0218号線(日沢)道路整備事業(繰越)	社会資本整備総合交付金 住環境整備事業 狭あい道路整備等促進事業 道路改良舗装工事 全体計画 L=210m W=5.0m 地区の生活道路として、拡幅改良を行い車両や歩行者の安全を確保する。 概算事業費 37,923千円(27見直) 内訳 委託業務 6,033千円 用地費 1,290千円 補償費 1,600千円 工事費 29,000千円	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	8	国補助	0	0	2,937	01 生活道路網の整備	建設課	4
35	市道(笠)1251号線(池野辺)道路整備事業(繰越)	社会資本整備総合交付金 住環境整備事業 狭あい道路整備等促進事業 道路改良舗装工事 全体計画 L=220m W=5.0m 地区の生活道路として、拡幅改良を行い車両や歩行者の安全を確保する。 概算事業費 33,668千円(27見直) 内訳 委託費 6,228千円 用地費 2,340千円 補償費 2,100千円 工事費 23,000千円	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	9	国補助	0	0	3,132	01 生活道路網の整備	建設課	5
36	市道(笠)2336号線(ギャラリーロード)整備事業	社会資本整備総合交付金 都市再生整備計画事業 (笠間芸術の森公園及び愛宕山周辺地区都市再生計画) 歩道景観整備工事 全体計画 L=820m W=2.5~6.0m インターロッキングブロック舗装 A=2,800㎡ 観光拠点である笠間芸術の森公園へのアプローチとなる歩道部の景観整備を行う。	102 建設・整備事業	進捗率	%	59	86	100	国補助	28,126	41,200	23,889	03 地域に応じた道づくり	建設課	2
37	橋梁長寿命化修繕事業	従来の対処療法型から予防保全型管理を行うことを目的に平成25年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画にもとづき、橋梁の修繕を行うものである。なお、5年に一度の定期点検後に修繕計画を見直すことから、橋梁修繕の優先順位は5年毎に変動となる。	105 維持管理事業	コスト削減額	円	0	0	0	国補助	0	0	20,600	01 生活道路網の整備	管理課	5
38	道路橋りょう災害復旧事業		105 維持管理事業			0	0	0		0	0	1	01 生活道路網の整備	建設課	5

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価		
				成果指標①	単位	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成25年度				平成26年度	平成27年度
39	道水路災害復旧事業(台風18号関連)(補助)(繰越)	本事業は、台風18号の集中豪雨により被災した岩間・友部地区の道路災害復旧事業を行う。	105 維持管理事業	進捗率	%	0	0	100	国補助	0	0	12,756	01 生活道路網の整備	建設課	5
40	(廃)水路災害復旧事業(台風18号関連)(単独)(繰越)		105 維持管理事業			0	0	0		0	0	0	01 生活道路網の整備	管理課	
41	道路維持事業(笠間地区)	道路法第42条により、道路はもとも一般交通の用に供することを目的とする。それは常時良好な状態に保持されて始めてその機能を十分発揮することができる。この意味において道路の維持、修繕は、その建設とならんで重要な道路管理者の責務といえる。	105 維持管理事業	要望達成率、不良箇所解消率	%	0	80	80	市単独	0	116,712	109,300	01 生活道路網の整備	管理課	3
42	橋梁長寿命化修繕計画策定事業	笠間市が管理する道路橋について、今後老朽化する橋梁数の増大に対応する必要があることから、道路法の改正により5年に一度の定期点検が義務付けされた点検結果を踏まえて橋梁長寿命化修繕計画を策定することにより、従来の事後的な架替えから予防的な修繕及び計画的な架替えへの転換を図るとともに橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の削減を図る。	105 維持管理事業	コスト削減	円	0	0	0	国補助	0	0	0	01 生活道路網の整備	管理課	5
43	道路維持事業(友部地区)	道路法第42条により、道路はもとも一般交通の用に供することを目的とする。それは常時良好な状態に保持されて始めてその機能を十分発揮することができる。この意味において道路の維持、修繕は、その建設とならんで重要な道路管理者の責務といえる。	105 維持管理事業	要望達成率、不良箇所解消率	%	0	80	80		0	97,415	77,379	01 生活道路網の整備	管理課	3
44	道路水路維持補修受付事務(岩間支所)	道路法により常時良好な状態に保持されてその機能を発揮することができるように維持補修は、その建設と並び重要な事業である。	105 維持管理事業	要望等の受付数	件	149	157	92	市単独	0	0	0	01 生活道路網の整備	地域課(岩間支所)	
45	道路水路維持補修受付事務(笠間支所)	道路、水路、河川等は、常時良好な状態で維持して機能を発揮することができる。よって道路の維持、修繕、改良は、重要である。よって、市民の利便性を図るため、各課への申請書、要望書等を経由し、緊急性の高いものや簡易なものは、安全管理や修繕対応を行い担当課へ緊急対応を依頼する。また、集成図、一筆図等の交付を行う。 道水路、河川等の修繕等や集成図等の交付は、管理課所管 道水路、河川等の新設、改良は、建設課所管 交通規制に関する標識(速度規制、横断歩道、信号機等)は、市民活動課所管	105 維持管理事業	修繕要望等の受付	件	75	166	138	市単独	0	0	0	01 生活道路網の整備	地域課(笠間支所)	
46	道路維持事業(岩間地区)	道路法第42条により、道路はもとも一般交通の用に供することを目的とする。それは常時良好な状態に保持されて始めてその機能を十分発揮することができる。この意味において道路の維持、修繕は、その建設とならんで重要な道路管理者の責務といえる。	105 維持管理事業	要望達成率、不良箇所解消率	%	0	80	80	市単独	0	72,998	46,019	01 生活道路網の整備	管理課	3
47	道路ストック総点検事業	トンネル天井板の崩落事故をはじめとする道路ストックの老朽化問題が深刻となる中、老朽化が進む道路ストックを的確に維持管理・更新し、次世代に引き継ぐためには、点検による健全度の把握と予防保全対策等を早急に実施する必要がある。また、平成26年7月の道路法改正により、5年に一度のトンネル、構造物の定期点検が義務付けされたことから、安全を確保するため、定期点検を実施する必要がある。	105 維持管理事業	コスト削減額	円	0	0	0	国補助	0	3,920	2,060	01 生活道路網の整備	管理課	5
48	(廃止)案内標識調査事業	笠間市サイン計画は、観光客の90%を占めると言われる車利用者の観光客を円滑に市内へ誘導するための計画であり、現在もこの計画によりサインの整備を行っている。しかし、市役所各課において、それぞれの目的に即した公共サインを設置しており、設置場所・目的・担当課等のデータが一元化されていない状態である。また、有効な施設案内を行うため、主な公共施設へ誘導標識が適切に設置されているか状況確認を行う。	105 維持管理事業			0	0	0	市単独	0	3,780	0	01 生活道路網の整備	管理課	
49	橋梁定期点検事業	平成26年7月の道路法改正により、5年毎の橋梁の定期点検が義務付けされたことから、定期点検のサイクルを確立し、点検結果を基に修繕及び計画的な架替えを行い橋梁の適切な維持管理に努め、修繕費等の削減を図る。対象橋梁は2m以上15m未満の橋梁288橋	105 維持管理事業	修繕費の削減	円	0	0	0	国補助	0	0	12,360	01 生活道路網の整備	管理課	5
50	道路管理総務事務	道路法による各種承認・許可業務 法定外道路に係る各種承認、許可業務 公共用財産の払い下げ業務 占用料の賦課徴収業務 国土調査の修正業務 土地賃借料支払業務	105 維持管理事業			0	0	0	市単独	5,775	18,520	21,399	01 生活道路網の整備	管理課	7

シート1 施策内事務事業目的直結度評価

施策名 生活道路



義務的的事业, 内部事務事業

市道認定事業
道路台帳更新事業

シート2施策内事務事業貢献度評価

施策名 生活道路

施策の目的に対する事務事業の目的の直結度

- 非常に高い 1
- 高い 2 3
- 中 4 5 6
- 低い 7 8 9

1	2	4
市道新設改良事業 笠間地区箱田稲田線、市道(友)1175号線 狭あい道路整備等促進事業 市道(笠)0105号線	狭あい道路整備等促進事業 幹線区画道路3号線、市道(岩)Ⅱ級11号線、市道(岩)Ⅰ級8号線 芸術の森公園及び愛宕山周辺整備事業(ギャラリーロード)市道(笠)2336号線 友部駅周辺整備事業(地区道路) 市道新設改良事業 市道(笠)2237号線、市道(笠)2089号線、市道(笠)2111号線	狭あい道路整備等促進事業 市道(笠)4003号線、市道(友)2級2号線、市道(笠)2274号線、市道(笠)2089号線、市道(笠)0218号線 社会資本整備総合交付金事業(友)1級11号線
3	5	7
友部地区(八雲)浸水対策事業 市道新設改良事業 市道(笠)0110号線 道路維持事業(笠間地区) 道路維持事業(友部地区) 道路維持事業(岩間地区)	狭あい道路整備等促進事業 市道(笠)0109号線、市道(笠)1251号線、市道(友)3206号線、市道(友)3266号線、市道(岩)西277号線、市道(岩)西309号線、市道(笠)2089号線、市道(笠)1011号線 市道新設改良事業(笠間地区、友部地区、岩間地区) 市道(笠)3589号線、市道(笠)3670号線、市道(岩)Ⅱ級6号線、市道(岩)中186号線、市道(岩)中336号線 道路橋りょう災害復旧事業 橋梁長寿命化修繕事業、橋梁長寿命化修繕計画策定事業、橋梁定期点検事業 道路ストック総点検事業	市道新設改良事業 市道(岩)西485号線 道路管理総務事務
6	8	10
9	11	12

成果は高い (上位)

成果はやや高い (中位)

成果は普通 (中位)

成果は低い、ほとんど出ていない
若しくは把握できない(下位)

事務事業の成果

事務事業の休廃止検討エリア

義務的的事业, 内部事務事業

市道認定事業
道路台帳更新事業

事務事業の成果基準の説明